団体名	一般社団法人 WheeLog
法人設立	2018 年 8 月
代表理事	織田友理子
理事	牛山 大輔（ハリウッド株式会社 代表取締役社長） 櫻井 政考（イービストレード株式会社執行役員） 高橋 ゆき（株式会社ベアーズ 取締役副社長） 野村 美通（M＆Kコンサルタンツ株式会社 代表取締役）
監事	内野 真人（公認会計士）
最高技術責任者	伊藤史人（島根大学総合理工学研究科 助教）
最高知識責任者	吉藤オリィ（株式会社オリィ研究所 代表取締役）
事務局員	2名
目的	障害者や高齢者、ベビーカー利用者などの移動に困難を抱える方向けにバリアフリー情報を発信し、社会全体のバリアフリーに関する理解を普及させること
事業内容	(1) バリアフリーに関する情報の提供 (2) バリアフリーに関する調査及び研究 (3) 街歩きイベント企画及び運営 (4) オリジナル商品の企画、開発及び販売 (5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業
所在地	〒 102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2 九段坂パークビル 4 階 M&K コンサルタンツ内
電話番号	050-5437-0791
メールアドレス	info@wheelog.com
ホームページ	https://wheelog.com/

WheeLog
ウィーログ！

2021年度
アニュアルレポート

車いすだからあきらめ る社会から
車いすでもあきらめない世界へ

ドバイ万博 2021 年 11 月

代表あいさつ

2021 年は新型コロナウイルスにより社会も WheeLog! も大きな打撃を受けました。また私個人でいうと、簡易電動車いすから電動車いすに乗り換え、パソコンの視線入力を使うまでに病状は進行しました。重度障害者の私は、生活する上ですべてのことに介助が必要ですが、たくさんの方と手をつなぎながら、WheeLog! の活動に取り組めています。2021 年 11 月にはドバイ万博に招聘されて現地で発表することもできました。

この WheeLog! には「車いすでもあきらめない世界」に共感した方々が集まっています。アプリに情報を投稿してくださる方、イベントに参加してくださる方、地域で WheeLog! を活用してくださる方、クラウドファンディングで支援してくださる方、毎月寄付をしてくださる方、運営を手伝ってくださる方など、それぞれが自分にできるコトを自分ゴトとして捉え、活動に参加しています。そこには、車いすユーザー・健常者などの状況は一切関係ありません。そんな優しい気持ちを持った人たちでつくられた WheeLog! は『世界一あたたかい地図』だと確信しています。

だからこそ、この地図をもっと使いやすくして、もっと情報をたくさん増やして、日本の隅々にまで深く浸透させて、世界中に広めていきたいです。まだまだ私たちにやれることはたくさんあります。皆さんと一緒に WheeLog! の活動を通して、SDGs 目標 11 の「住み続けられるまちづくりを」に貢献していきたいです。

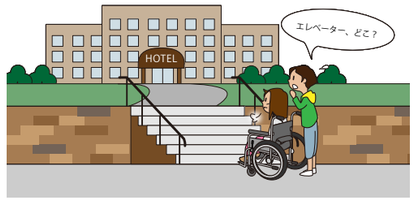
今この状況で何ができるのかをみんなで考えながら、化学反応を起こしながら、誰ひとり取り残すことなく、仲間を増やしていきましょう。そうすれば誰もが「車いすでもあきらめなくていいんだな」と心から信じられる世界が実現できるはずです。そんな世界をみんなで一緒に作りたいです。

代表理事　織田友理子

WheeLog!が解決する社会課題

車いすだからあきらめる社会

日本では 60 人に 1 人が車いすユーザーといわれています。車いすだと思うように動けずに消極的になってしまい、社会の様々な障害に遭遇するたびに「車いすだから」とあきらめてしまいがちになります。この「あきらめ」が積み重なることで、教育や就職・結婚など、人生のあらゆる可能性を狭めることにつながります。WheeLog! では情報と心のバリアフリーで、あきらめない世界を目指します。



車いすでもあきらめない世界をつくるために・・・

① **情報で人生の選択肢を広げる**
バリアフリー情報を発信する取り組み → P. 6~7

② **すべての人の心の壁をなくす**
心のバリアフリーを広げる取り組み → P. 8~9

③ **フラットな社会を世界に広げる**
制度や社会の課題を解決する取り組み → P. 10~11

受賞・メディア P. 12

会計報告 P. 13

個人サポーター P. 14

法人スポンサー P. 15

ユーザーの声

『あなたの「行けた！」が誰かの「行きたい！」になる』このキャッチコピーが大好きでアプリを使っています。WheeLog!を通して、誰もが好きな時に自由に出かけられる、それが凄いことではなく、**当たり前になる社会**になるといいなと思っています。　（40代　車いすユーザー）

車いすになって気がつかないうちに引きこもりに。でもWheeLog!には健常者も障害者も心にバリアがないあたたかい人達が集まっていました。WheeLog!に出会えてまた**昔の自分を取り戻せました**。そのきっかけを作ってくれたWheeLog!を、今度は私が伝えていきたいです。
（40代　車いすユーザー）

WheeLog!が発信するメッセージは、当事者からの発信に留まりません。WheeLog!を通して**地域社会や人とのつながりがうまれます**。バリアを作ること、無くすことは人です！WheeLog!なら皆でバリアを越えていけると感じられます！
（50代　歩ける人）

車いすユーザーにとって必要な情報は、実は一人ひとり少しずつ違います。だからこそ健常者も一緒に自分の街や外出先で見つけたバリアフリー情報を投稿することで、**誰かの"選択肢"が広がっていく**んです！
（30代　歩ける人）

各分野の声

観光

観光とWheeLog!はとても相性が良く、車いすユーザーや歩行困難者が旅行に行きたいと思った時、WheeLog!のアプリには最新のバリアフリー情報がたくさん詰まっていて、当事者の方にとって、**外に出かけるきっかけ・後押し**になっています。

元 HIS
ユニバーサルツーリズムデスク
薄井貴之さま

交通モビリティ

WheeLog!のバリアフリー情報を私たち交通事業者のサービスと連携させることで、徒歩区間の移動と交通事業者のサービスがシームレスにつながり、車いす利用者をはじめとした皆様による **自律的なドア to ドアの移動**が実現できます。

全日本空輸株式会社 (ANA)
Universal MaaSプロジェクト
大澤信陽さま

教育

車いすユーザーの子どもが街中を走行し、WheeLog!にログを残すことで、**即「社会貢献」**になります。また、障害のない子どもも、当事者の視点に立つという経験を、アプリの活用という時代にあった方法で**楽しく学べます**。

茨城県立 水戸特別支援学校
校長 宮山敬子さま

地域活性

WheeLog!の街歩きイベントは、障害のあるなしに関わらず参加者同士がつながり、**街の人々ともつながれます**。地域の魅力・観光資源を発信していく機会になることで、多元的な効果を生み、地域活性化を促せます。

神奈川県西地区リハビリテーション協議会
作業療法士 初鹿真樹さま

1

情報で人生の選択肢を広げる

バリアフリー情報を発信する取り組み

情報は私たちの人生の選択肢を広げることができます。

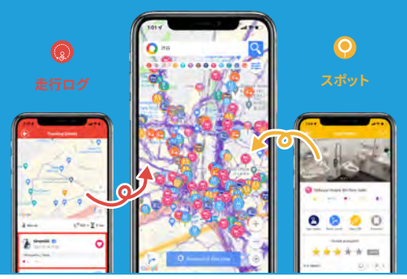
WheeLog! の活動の中で、車いすユーザーが情報によって人生が大きく広がる瞬間を何度も見てきました。

ある時は誰かの情報に助けられ、またある時は誰かに情報を届けられる。そんな双方向に助け合い「幸せの循環」が生み出せる仕組みを作りたいと思い、活動を続けています。

あなたの行けた場所が、誰かの行きたい場所になる。情報で助け合う世界が WheeLog! では広がっています。

WheeLog!（ウィーログ）
みんなでつくるバリアフリーマップ

あなたの 行けた が 誰かの 行きたい に



App Store
Google Play

ダウンロード数：10万
スポット数：4.5万件
走行距離：10万km
対応言語：10言語
（2022年3月時点）

車いすで実際に通った道や、ユーザー自身が利用した施設などユーザー体験に基づいたバリアフリー情報を共有しています。
日本だけでなく世界中のバリアフリー情報をアプリやWebで無料で見ることができます。

無料ダウンロード

アプリ開発・運用

アプリのアップデート (ver.3.2.0)

不具合の解消や最新OSへの対応など、アプリのアップデートを実施しました。アプリは毎年更新作業が必要になります。今回の対応で今後も安定してアプリをお使いいただけるようになりました。

主なアップデート
・位置情報の設定対応
・Googleスポットの重複チェックを投稿前に実施
・Googleスポットの検索時に、すでに投稿されているスポットをリスト右側にアイコンで表示
・その他、レイアウトの微調整や細かな不具合に対応

Web版のスマホ対応

これまでパソコン表示にしか対応していなかったWheeLog!のWeb版をスマホでも表示できるように機能改修しました。これにより、アプリには実装していない「絞り込み検索」がスマホでも使えるようになるなど、ご利用の幅が広がりました。（https://app.wheelog.com/）

▼Web版はこちら

管理機能による情報整理

ユーザーの皆さまのおかげで、日々バリアフリー情報が増え続けています。スポットは4.5万件、走行ログは10万kmを超えました（2022年3月時点）。その中で、スポット名や位置情報の修正など、情報の精度向上のために、管理機能を使って情報の整理を進めています。

利用サポート

アカウント名やログイン方法、アプリの使い方など、さまざまお問い合わせをいただいています。皆さまにアプリを快適にご利用いただけるよう、使い方の動画やスライドをホームページに掲載しています。また、アプリのつぶやきに質問すると、ヘビーユーザーさんが答えてくれることもありますので、ぜひお気軽にご利用ください。

▼使い方はこちら

オープンデータ

岡山県バリアフリー情報

岡山県からバリアフリー情報をオープンデータとして提供していただきました。ご提供いただいたデータを、WheeLog!のフォーマットに合わせて整形し、アプリ内に追加しました。今回の情報提供で、岡山県内にある観光施設や公園、図書館、体育館、公民館など、812件の情報が追加されました。今回の対応で、岡山県がこれまで集められてきた情報を、WheeLog!で表示できるようになり、岡山県のバリアフリー情報をより多くのユーザーの方に見ていただけるようになりました。

システム・データ連携

ANA空港アクセスナビとのデータ連携

9月15日より「ANA空港アクセスナビ」の徒歩区間における「バリアフリー地図/ナビ」機能の運用が開始されました。バリアフリー情報はWheeLog!のAPIを介してデータ連携されており、ユーザーの皆様に投稿いただいた情報の一部を、ニックネーム等のユーザー情報をすべて取り除いた形で提供されています。

これまでユーザーの皆さまに集めていただいた情報を、ANA空港アクセスナビとデータ連携することで、情報の社会的価値をさらに高め、より多くの車いすユーザーをはじめとする移動に困難を抱える皆さまにご活用いただければと願っています。

防災・減災プラットフォーム「cmap」との連携

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が無償公開している防災・減災プラットフォーム「cmap」のアプリで、WheeLog!のバリアフリー情報を確認できるようになりました。自然災害リスク情報とバリアフリー情報を一元的に確認できるツールの提供は、業界初となります。WheeLog!としても、今回のアプリ連携で防災・減災に寄与できることを大変うれしく思います。

バリアフリーマップ制作

横浜中華街 観光バリアフリーマップ

協賛企業/団体/助成

休眠預金助成　株式会社インターアクション　社会福祉法人小田原福祉会　株式会社ケイワークス

バリアフリーマップ　5つの特徴

①車いすで実際に利用
掲載のお店や駅構内など、実際に車いすを使用して調査を行いました。車いすの利用シーンがイメージできるように、写真に車いす利用者を掲載しています。

②アプリにデータを集約
調査した内容をアプリの中に投稿して、アプリ内のマップで見れるようにしました。

③紙マップを無償配布
紙マップは横浜市や神奈川県の観光案内所、宿泊施設などに無償配布しています。また、誰でも手軽に見られるようにPDFをHPにて公開しています。

④デジタルマップ
今回は紙マップをそのままデジタル化することに挑戦しました。
https://stroly.com/viewer/1627364989

⑤アクセス動画
最寄駅から横浜中華街までのアクセスルートを動画撮影しました。紙マップのQRコードから動画を見られます。

WheeLog!が独自に調査・情報収集して、横浜中華街の観光バリアフリーマップを制作しました。このマップは休眠預金助成および2021年4月に実施したクラウドファンディングの支援を活用して制作しました。クラウドファンディングでは86名の方と3企業/団体からご支援いただきました。心より御礼申し上げます。

4月と7月には車いすで街歩きバリアフリー調査を行いました。イベントの様子は次のページをご覧ください。（→P.8参照）

▼マップを見る

❷

すべての人の心の壁をなくす

心のバリアフリーを広げる取り組み

心のバリアフリーを広げる取り組みを、日本各地、各分野で展開しています。

車いす街歩きでは、車いすに乗ったことのない人や車いすユーザーが一緒に街に出かけ、街中にあるさまざまな「バリア」を知り、そのバリアを一緒に乗り越えていく、そんな体験を通して「心のバリアフリー」を育んでいます。

車いす街歩きは、まちづくりや地域活性、観光、教育など、さまざまな分野で取り組みを広げていて、企業や学校などでも実施されています。

そのほか、観光庁の動画制作や、バリアフリー情報収集、セミナーを通して、心のバリアフリーを広げる活動をしています。

WheeLog!フレンズ

～あなたの地域で街歩き～

参加しよう!

WheeLog! フレンズは各地域で WheeLog! の取り組みを推進する有志の集まりです。他地域のフレンズ同士で街歩きなどの活動を共有しながら、主体的に活動を展開できます。

こんな人は即参加!

地域のバリアフリーマップをつくりたい!

車いすの街歩きイベントをやってみたい!

地元で WheeLog! の取り組みを広めたい!

参加はこちら

車いす街歩き

#バリアを知りバリアを越える

WheeLog! in 横浜

#街づくり

4月18日と7月4日に、横浜で車いす街歩きのバリアフリー調査を行いました。このイベントは、「横浜観光バリアフリーマップ」制作の一環として実施しました。マップ制作のためのクラウドファンディングでご支援いただいた皆さまが参加しました。

コロナ禍での開催のため、机と椅子の間隔に気を付け、マスク・消毒・三密の回避など感染症対策もしっかりと行いました。

4月は天気にも恵まれ、中華街を車いすで街歩きしながら、WheeLog!アプリにたくさん投稿していただきました。

7月はあいにくの雨となりましたが、皆「雨の日ならではの貴重な体験ができた」と、街歩きを楽しんでいました。

実施した2回の街歩きを元に、横浜の観光バリアフリーマップを制作しました。(→P.6参照)

WheeLog! in 鎌倉

#地域活性

10月24日に「WheeLog! in 鎌倉」の車いす街歩きイベントを実施しました。今回はラグビー界のレジェンド、元ラグビー日本代表キャプテン廣瀬俊明さんにもご参加いただきました。たくさんの気づきや学びがあり、みんなで心のバリアフリーを確かめ合える素晴らしいイベントとなりました。

WheeLog! in 伊香保温泉

#観光

11月23日・24日に、群馬県渋川市の伊香保温泉で障害がある当事者や旅行業界、バリアフリーの普及を目指す関係者らで「ユニバーサルツーリズム」のシンポジウムやWheeLog!街歩き調査を行いました。

街歩き説明会 in 浅草

#観光

7月3日に旅行会社向けの街歩き説明会を実施しました。プログラムの詳細を説明した後、浅草のアーケード街で車いす体験を行いました。今後、旅行会社さまと連携しながら、自治体や企業、学校などに、車いす街歩きの教育プログラムを提供していく予定です。

鎌倉女子大学

#教育

5月29日に神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室の事業の一環として、鎌倉女子大学の伊藤大郎ゼミの学生や卒業生、地域に住む車いすユーザーの方と一緒に、車いすの街歩き体験を実施しました。

上越教育大学

#教育

9月26日に上越教育大学学部1年生の授業「体験学習」の一環として、WheeLog!を使用した車いすの街歩き体験を実施しました。11月20日には「上越市教育コラボ学び愛フェスタ」で体験学習での学びの成果発表が行われました。

水戸特別支援学校

#教育

5月19日に2年次、3年次の教員が校内研修の一環として、車いす街歩きを体験しました。あいにくの雨でしたが、車いす専用のカッパを着て、学校の周辺を車いすで走行し、走行ログを残しました。さらに、カフェのお店の方にご協力いただき、バリアフリー調査も行いました。

大泉特別支援学校

#教育

2月25日に中学部3年生が大泉中央公園まで、街歩きデビューを果たしました。まだ誰も歩いていない道に足跡を残すことができました。学校に戻ってマップを確認して、青い線が引かれているのを見て、とても嬉しそうでした。

動画制作

観光庁「心のバリアフリー認定制度」の啓発

観光庁「観光施設における心のバリアフリー認定制度」に関する動画をWheeLogで監修・制作しました。Tokyo2020金メダリストの道下美里選手（女子マラソン）と木村敬一選手（男子水泳・バタフライ）に出演いただき「心のバリアフリー」を伝える動画や、宿泊施設・飲食店・観光案内所などの事業者別の研修動画を制作しました。

動画は観光庁の『バリアフリー情報発信動画作成等業務』及び『「観光施設における心のバリアフリー認定制度」に関する動画作成業務』の受託事業として実施しました。

バリアフリー情報収集（企業・団体研修）

SGDsやインクルーシブを学ぶための研修として、WheeLog!アプリにバリアフリー情報を投稿する研修イベントを実施しています。完全リモートで実施できる研修として好評をいただいています。

2021年度は7月、9月、1月の3回実施し、合計2043件の投稿をいただきました。

実施企業/団体

- あいおいニッセイ同和損保
- 日本航空（JAL）
- 千葉県医療専門職（国土交通省実証実験）

セミナー

バリアフリー情報の発信や、心のバリアフリー対応についてのセミナーに登壇しています。2021年はオンラインだけでなく、現地でも登壇する機会がありました。参加者の皆さまからは大変好評をいただいており、講演後にアプリをダウンロードしたり、WheeLog!のボランティア活動に参加したりと、共感の輪が広がっています。

主な登壇セミナー

- BMW財団-MIT Solveワークショップ
- 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ
- MBT難病克服支援WEBセミナー
- 横浜ユニバーサルツーリズムセミナー
- 鹿児島市ユニバーサルツーリズムセミナー
- ZENRIN ONLINE SEMINAR 2021
- Beyondミーティング
- リビエラSDGsフェス
- 超福祉の学校

③

フラットな社会を世界に広げる

制度や社会の課題を解決する取り組み

日本のバリアフリーには優れている部分がたくさんあります。

例えば、日本のバリアフリートイレは、公共施設だけでなく商業施設にも配備されています。日本では重度の障害があっても外に出かけられるような環境が着実に整えられており、誰もが参加できる社会づくりが進められています。

今後も日本国内のバリアフリー政策を更に改善しながら、海外にその事例を発信することで、「バリアフリー先進国」として世界のバリアフリー化を推進していけると思います。

これからも当事者の声を聞きながら、国や自治体と連携しながら、事業を一つ一つ真剣に進めていきます。

LOVE & SDGs
車いすでもあきらめない世界をつくる

活動を知ろう!

主な内容

第１章　道なき道を
第２章　車いすで世界を知る
第３章　WheeLog! がつくるあきらめない世界
第４章　バリアフリー社会実現への挑戦
第５章　愛ある生き方
第６章　誰一人取り残さない社会へ

代表織田友理子の３冊目となる著書。これまでの活動とこれからの展望について「LOVE」と「SDGs」をキーワードに、その思いを綴りました。WheeLog! の取り組みについて詳しく書かれています。ぜひご覧ください。

購入はこちら

アドボカシー

点字ブロックと車いすに関する意見交換会

4月と翌2月に2回、国土交通省で点字ブロックのあり方について、肢体不自由や視覚障害の関連団体や、大学/企業の有識者も交えた意見交換会が開催されました。WheeLogからも「視覚障害者誘導用ブロック及び縁石の段差の車椅子対応についての提案」として資料を提出しました。

新幹線の車いすスペースに国土交通大臣と試乗

東海道新幹線の車いす席を増設した車両の試験運行に、国土交通大臣や金子JR東海社長、DPI佐藤事務局長らと共にWheeLog代表の織田が参加しました。また、4月27日付の公明新聞で試乗を受けてのインタビューが掲載されました。

横浜市役所の視察

6月に横浜市役所を訪問し、横浜市議を交え、市の職員の方と懇談会を行いました。職員の方と新設された市役所のバリアフリーを確認し、併設されたカフェへのアクセスなど、課題と改善案を提案しました。後日、一部の箇所は改善され、残る課題も今後引き続き対応されるとのことです。

横浜市会議員への講演

4月2日に公明党横浜市会議員団の皆さまに代表の織田が講演を行いました。福祉の街づくりについてやWheeLogの取り組みについて紹介しました。

社会への発信

JALオンライン空港体験プログラム

日本航空（JAL）と空港体験プログラムのオンラインイベントを開催。車いすを利用する当事者やその家族の方が参加し、予約手続きや機内での案内についてなど、飛行機を利用する際の対応について、職員の皆さまから詳しく説明していただきました。

ドバイ万博2020

一般社団法人WheeLogは、ドバイ万博から Expo Live グローバルイノベーターとして招聘を受け、11月14日～20日に現地ドバイを訪問しました。

パビリオン展示

世界140団体から選出されたExpo Live グローバル・イノベーターとして、パビリオンに展示されました。展示はわずか**36団体**のみで、しかもWheeLog!は入口正面に展示されていて、各国のVIPが訪れた際に、本パビリオンの主な展示として紹介してくださっていたそうです。

Expo Liveプログラム登壇

11月18日には、Expo Liveのプログラムとして、WheeLog!の取り組みについてプレゼンテーションを行いました。さらに同日、グローバルイノベーターとともに「信頼を通じたバーチャルコミュニティの創出」について、パネルディスカッションしました。

SUPPORTED BY
EXPO LIVE
An Expo 2020 Dubai Initiative

▲パビリオンのWheeLog!紹介展示

メディア取材

約1週間の滞在の中で、万博公式ブロードキャストや、地元メディアから3件の取材を受けました。

イノベーターとの交流

世界各国から集まった社会課題に挑戦しているグローバルイノベーターと交流を深めました。

バリアフリー調査

会場１周に２時間以上かかる万博内のトイレやレストランのバリアフリー情報を収集しました。

報告会

帰国後、12月27日に支援者の皆さまにドバイ万博の報告会を開催しました。

おすすめ!!

WheeLog! in Expo 2020 Dubai

誌面では伝えきれない現地での活動の様子を**13分の動画**にギュッとまとめました。

日本出発からドバイでの発表まで、**約1週間**におよぶ活動の様子をお伝えします。

万博会場内でのWheeLog!の展示や、代表のスピーチの様子が見られます。

動画はこちら▶

受賞

WheeLog!

アジア健康長寿イノベーション賞

テクノロジー＆イノベーション部門 準大賞

日本国内最優秀事例選出

2021年6月9日

WheeLog!

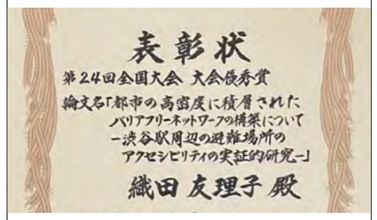
Supported by iF

iF Social Impact Prize 2021

iF International Forum Design GmbH 主催

2021年7月21日

WheeLog!



日本福祉のまちづくり学会

大会優秀賞（最高賞）

2022年1月吉日

この他に「Elevate Prize 2021ファイナリスト」にも選出されました。

メディア

WheeLog!

CNN特別番組

「新型コロナ禍　日本のイノベーション」と題し、代表の織田が取り組む車椅子ウォーカーやWheeLog!の活動が紹介されました。

2022年2月5日

WheeLog!

KIZUNA

内閣府発行webマガジン「KIZUNA」にWheeLog!の取り組みが掲載されました。さらに日本政府公式のTwitter、Facebookページでも紹介されました。

2021年10月21日

WheeLog!

BBC（英国放送協会）

WheeLog!についての紹介動画を制作いただきました。撮影にはアンバサダーの根本ありささんにご協力いただきました。

2022年1月17日

Web記事

SCENARIO（科学技術振興機構）
神奈川県ポータルサイト
KIZUNA（内閣府）
TOKYO UPDATES（東京都）
THEATRE for ALL
創大Days
みんなのDeliPa（デリパ）
きらケア
Science Window（科学技術振興機構）
CancerXモビリティnote
知財図鑑

雑誌

ぶーめらん（島津製作所）
日本ALS協会会報誌
厚生労働（厚生労働省）
日本難病看護学会誌
福祉介護テクノプラス
第三文明
情報紙「運輸振興」
AERA
Newsweek（アメリア）

ラジオ

ラジオFMおだわら
広島RCCラジオ

テレビ

知りたい!SDGs（BSフジ）
カナフルTV（テレビ神奈川）
ARD（ドイツ）
BBC（イギリス）
CNN特別番組（アメリア）
TVBS（台湾）

新聞

産経新聞
公明新聞
読売新聞夕刊
西日本新聞
朝日新聞（1面広告）
ともいきバトン（神奈川県）

Web動画

科学技術振興機構
NHK WORLD-JAPAN
FAIR PLAY TALK（廣瀬俊朗）

メディア実績

Web記事 12
雑誌 10
テレビ 6
新聞 6
Web動画 3
ラジオ 2

会計報告

活動計算書

令和３年４月１日から令和４年３月31日まで

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 経常収益			
1.受取会費		7,271,620	
2.受取寄付金		6,586,832	
3.受取助成金		2,305,527	
4.事業収益		19,987,752	
5.その他収益		12,248	
経常収益　計			36,163,979
Ⅱ 経常費用			
1.事業費			
(1) 人件費	4,963,977		
(2) その他経費	14,556,714		
事業費　計		19,520,691	
2.管理費			
(1) 人件費	3,488,900		
(2) その他経費	2,569,420		
管理費　計		6,058,320	
経常費用　計			25,579,011
当期経常増減額			10,584,968
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益　計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用　計			0
税引前当期正味財産増減額			10,584,968
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			10,514,968
前期繰越正味財産額			17,436,637
次期繰越正味財産額			27,951,605

貸借対照表

令和４年３月31日現在

（単位：円）

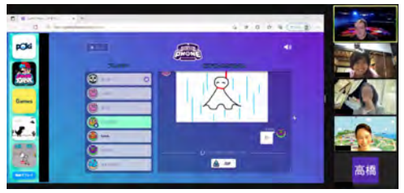
科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1．流動資産			
現金預金	19,794,727		
未収金	3,558,597		
棚卸資産	36,727		
前払費用	53,583		
流動資産合計		23,443,634	
2．固定資産			
(3) 投資その他の資産			
ソフトウェア改修積立資産	7,500,000		
固定資産合計		7,500,000	
資産合計			30,943,634
Ⅱ 負債の部			
1．流動負債		2,052,029	
2．固定負債		940,000	
負債合計			2,992,029
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		17,436,637	
当期正味財産増減額		10,514,968	
正味財産合計			27,951,605
負債及び正味財産合計			30,943,634

2022年5月18日付で監事による監査が行われ、財務諸表等（活動計算書、貸借対照表、財産目録）は当法人の財産及び損益の状況のすべての重要な点において適正に表示している旨の監査意見を受け取っています

個人サポーター

4周年ユーザー感謝祭

オンライン交流会（通称スナユリ）



アプリ勉強会

国際福祉機器展(HCR)2021

WheeLog!超交流会2022春

WheeLog!の活動は、毎月継続のご寄付で支援いただいている**「サポーター」**のみなさまによって支えられています。寄付による支援だけでなく、アプリの勉強会や毎月開催のオンライン交流会、イベントでのチラシ配りなど、その支援は多岐に渡ります。日頃よりさまざまご支援を賜っている皆さまに、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

個人プラチナサポーター

金栗聡さま
中村元さま
村田康剛さま

サポーターは
ご寄付のうえ
ご参加ください▶

クラウドファンディング

ご支援いただきありがとうございます！

8~10月にクラウドファンディングを実施しました。クラウドファンディングには延べ**403人**の支援者の皆さまから**5,605,000円**のご支援をいただきました。

ご支援いただいた資金は**アプリの改修（→P.6参照）**や**ドバイ万博の渡航費（→P.11参照）**等に活用させていただきました。

1月22日、23日には織田友理子の新刊出版記念オンラインパーティーを支援者さまへのリターンとして開催しました。

ご支援いただいた皆さま、誠にありがとうございました。特に左記の皆さまからは多額のご支援を賜りました。心より御礼申し上げます。

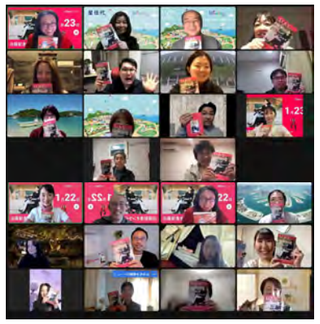
今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

▼高額ご支援者さま

- 株式会社 オリィ研究所
- 古屋照夫
- 合同会社 sowacana
- 株式会社 プロスパー
- IFA 法人 MK3 株式会社
- 株式会社 第三文明社

10万円以上のお名前掲載コースにご支援いただいた方を掲載しています

▼出版記念オンラインパーティー（リターン）



毎年8月にクラウドファンディング実施

ページを
フォロー

毎年8月にクラウドファンディングを実施します。ぜひQRコードからWheeLog!のページを「フォロー」してください。いち早くクラウドファンディングの詳細をお届けします！

法人スポンサー

Silver Sponsor

- あいおいニッセイ同和損保
- CHARGE SPOT
- 阿部建設株式会社
- MFF Morgridge FAMILY FOUNDATION

Bronze Sponsor

- Ory Lab Inc.
- 華翔居家護理所
- molten From the Inside Out
- NTT DATA 株式会社NTTデータ経営研究所
- NEWONE
- SYNTEX
- ドコケア
- permobil
- ANA
- 株式会社おさるトラベル
- 高齢者の不動産窓口 ふどまど Plus 株式会社プロスパー
- MK3 IFA COMPANY
- JTB 感動のそばに、いつも。
- ZENRIN
- e-BISTRADE

法人パートナー

- nanoconnect
- 介護用品・福祉用具のレンタルと販売 ダスキンヘルスレント
- MIT SOLVE

法人スポンサーご協賛プラン

複数口でのご支援も歓迎

ゴールド	シルバー	ブロンズ
1,000 万円～/年	100 万円～/年	10 万円～/年

振込口座

楽天銀行 第二営業支店
普通預金 7785882
一般社団法人 WheeLog
シヤ）ウィーログ

ご確認事項

- 弊団体への寄付金は**税額控除の対象とはなりません**
- スポンサー期間は入金日から起算して**翌年同月末**まで
- プランの名称・特典等は**予告なく変更**される場合があります
- 支払い方法は**銀行振込**のほか、**クレジットカード払い**も対応
- ご不明な点は info@wheelog.com までお問い合わせください